

1 管理運営に関する基本的事項

都立動物園の管理運営における基本理念

当協会は、都の「パークマネジメントマスタープラン」及び「第2次都立動物園マスタープラン」、その他上位計画の実現のため、都立動物園を取り巻く環境の変化を踏まえ、次の3つの基本理念に基づき、5つの取組を推進します。

3つの基本理念

1	魅力的な展示と多彩な教育普及活動による、 <u>楽しみながら学べる動物園・水族園の実現</u>
2	国内外の関係組織との協働による、 <u>生物多様性の保全への貢献</u>
3	動物園・水族園を拠点とし、 <u>地球と生き物を未来へつなぐ活動を推進</u>

5つの取組

1	生き物の魅力や生態を「 <u>伝える</u> 」	来園者の心を動かす展示づくり
2	誰もが「 <u>楽しみ、学ぶ</u> 」	安全・安心・快適な環境づくり,多彩な教育普及プログラムの展開,アクセシビリティの向上
3	生き物を「 <u>理解し、まもる</u> 」	野生生物保全,ネイチャーポジティブの実現に貢献
4	多様な主体と「 <u>ともに創る</u> 」	様々な主体との協働・共創を推進
5	持続可能な地球環境を「 <u>未来へつなぐ</u> 」	持続可能な地球環境を次世代へ継承

2 人員配置計画等

人材の確保・育成と組織体制の整備

次の視点に沿って公立施設の適切な管理運営を担える良質な人材を確保し、育成するとともに、必要に応じて柔軟に組織体制の見直し・強化を図ります。

- 「動物園事業の発展振興」「人と動物の共存への貢献」という協会の使命を深く理解し、使命の実現に向けて誠実かつ責任のある行動が取れる人材
- 未来志向で新たな価値の創造に挑戦するため専門知識や技術を積極的に吸収し、自己成長の成果により都立動物園・水族園の発展に貢献できる人材
- 幅広い視野を持ち、国内外の様々な主体と連携・協働しながら、利用者の期待に応え、日本の動物園・水族館全体の発展にリーダーシップを発揮できる人材



3 都立動物園業務計画

都立動物園の管理運営についての実施方針

都立動物園の性格や立地条件、利用者特性等をふまえ、各園の目指す姿と取組の方向に沿って管理運営します。



恩賜上野動物園：国内外から訪れる来園者に充実した動物園体験を提供し、生物多様性保全の重要性を世界へ発信する日本のリーディングズー



多摩動物公園：多摩丘陵の自然を活用し、ダイナミックな展示と生息域内・生息域外を問わない幅広い野生生物の保全活動を推進する動物園



井の頭自然文化園：身近な動物とのふれあいや、園内外の自然を活用したプログラムにより、野生生物を守る心を育む動物園



葛西臨海水族園：「人と生きものと水」の関係を結びなおし、伝え、紡いでいくと同時に、新たな施設につなげていく水族園

快適な観覧環境と魅力的な展示の実現

快適な観覧環境

アクセシビリティを高める取組、多言語化のさらなる推進、気候変動への対応（暑熱対策等）などを通して、多様な来園者が快適に過ごすことのできる環境をつくります。

魅力的な展示

- 飼育環境や飼育手法を工夫し、野生生物の生息環境を再現することによって、生き物本来の行動や生態を引き出し、来園者が生き生きとした動物を観察し、楽しみ、学ぶことができる展示を実現
- 「飼育展示・教育普及・維持管理・デザイン」等の各分野における専門知識や技術・ノウハウを活かし、新たな施設整備等において都に積極的な情報提供・提案等を行い、展示と施設の魅力向上に貢献



適正な動物飼育と技術向上、繁殖研究

希少な野生生物を守り、来園者に様々な生き物の魅力や保全の大切さを伝えていくため、適正な動物の飼育管理、高度な飼育繁殖技術の継承・発展・発信等に取り組みます。

- アニマルウェルフェア（動物福祉）に配慮した適正な動物の飼育管理と展示を推進
- 培った経験知を着実に継承するとともに、最新の知見やテクノロジーを取り入れて飼育繁殖技術の発展にチャレンジし、成果を発信等



3 都立動物園業務計画

野生生物の保全

野生生物保全センターを中心に、当協会の保全活動を「域内」「研究」「連携」「普及」の4つのカテゴリーに沿った50件のプロジェクトに整理のうえ、第2次都立動物園マスタープランや第2次ブーストック計画に沿った野生生物保全をより一層推進していきます。

域内

職員が生息地に足を運び、生息環境の整備や野生個体の生息状況の調査などを行います

研究

野生生物保全に関する調査・研究や、生物学・栄養学等、科学的技術や知見を活用します

連携

国や地方自治体、NPO等と連携し、当協会の技術を活かした飼育下繁殖や技術的支援を行います

普及

野生生物の現状や保全活動について、教育普及プログラムや配布物等を通して伝えていきます



教育普及

教育普及センターを中心に4園が連携し、多彩な教育普及活動を展開します。誰もが生き物の魅力を楽しみながら学べるよう、さらに多様化する学びのニーズに対応できるよう、これまで蓄積したノウハウを活かした様々な手法で豊かな学びの場を提供します。

楽しみながら学べる教育普及活動の強化

- 生き物ガイド等の教育普及プログラムと動物介在教育の充実 等

多様な利用者に寄り添った教育普及活動の推進

- 誰も取り残さない教育普及活動の推進 等

環境学習プログラムの充実と野生生物保全につながる行動変容の促進

- 園内外の自然を活用した環境学習プログラムの充実
- 持続可能な社会に向けた行動を後押しするプログラム等の実施

学校教育との連携強化

- 体系的な学校団体向け教育普及プログラムの提供 等

4園連携による幅広い教育普及活動の展開

- 教育普及センターが中心となり、教育普及プログラムの評価手法や新たな技術の活用など教育普及活動を推進するうえでの課題を4園で共有し、解決策を検討



4 運営管理計画

質の高いサービスの提供

多様な来園者に寄り添った質の高いサービスの提供を通して来園者の満足度を高めるとともに、戦略的なマーケティング・広報を通して利用を促進します。

- 多様な来園者に寄り添った案内接客、AIなど新たなテクノロジーを活用したサービスの向上 等
- 公式サイトを基盤とした戦略的な広報、魅力的なコンテンツによる来園者誘致、外部と連携したマーケティング 等

都民協働や地域コミュニティとの連携

ボランティアとの協働を強化するとともに、近隣公園や自治体・地元関係者等と連携し、施設及び地域の魅力と価値の向上に努めます。

- ボランティアとの協働推進 等
- 自治体・地域コミュニティや他団体等との連携協力 等

共生社会の実現に向けた取組

これまで取り組んできたユニバーサル社会の実現に向けた施策を継承し、さらに充実させていきます。

- 多様な人々の自己形成と交流の拠点となる取組
- 共生社会の実現に寄与する組織基盤の形成 等

5 施設維持管理計画

適切な維持管理を行うための取組

安全・安心で快適な観覧環境を確保し、良好な都市環境に寄与するため、動物舎や水槽、電気・上下水道等の設備をはじめ、園路広場、便益施設、樹木や花壇等の多岐にわたる園内施設の維持管理を都が定める「都立公園の維持管理技術指針」に則り的確に進めていきます。

- 即時対応可能で、設備等の機能と品質を確保する維持管理体制
- 園内植物等の適切な維持管理と魅力発信の素材としての活用
- 地球環境に配慮した施設維持管理 等

危機管理（様々なリスクに関する安全対策と発生時の対応）

都立動物園は数多くの野生生物、来園者、職員の大切な「いのち」を預かる現場です。当協会では理事長をトップとする「危機管理委員会」のもと、あらゆるリスクに備えて万全の体制を構築し、事故防止の徹底や安全対策を適切に実施し、「想定外を許さない」を念頭に危機管理対策の強化を図ります。

